

情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情宣部

山東参院議長「命を顧みず戦う姿に感動」



3月23日、ウクライナ・ゼレンスキー大統領がオンラインにて国会演説をしました。その後山東参院議長は「閣下が先頭に立ち、また貴国の人々が命をも顧みず、祖国のために戦っている姿を拝見して、その勇氣に感動しております」とあいさつしました。今回の山東発言は「お国のために」ということを扇動しかねない発言で危険を感じます。2012年に公表された自民党の改憲草案では、「内閣は法律と同一の効果を有する政令を制定できる」とし、国などの指示に従う義務を国民に課しています。個人よりも国を重視する立場を取るとなっています。国を守るためには犠牲をもちとわれないといった発言を断じて許すことはできません！

ロシアによるウクライナ侵攻以降、安倍元首相の「核共有」発言など日本を『戦争をする国』にしようとする発言が目立っています。ウクライナの人々が被害を受けている状況を利用して、どさくさに紛れて改憲に向けて推進しようとする動きが見られます。私たちは、物事を冷静に考えあらゆる戦争政策に反対していきます！

あらゆる戦争政策に反対する市民団体と連帯しよう！！

3月29日に予定されていた日比谷集会は主催者の事情により、延期となりました。改めて4月8日に開催されます。あらゆる市民団体と連帯して、戦争反対を訴えよう！



ロシアは侵略をやめろ
ウクライナから撤退を！
0408日比谷集会

4月8日(金)
日比谷野外音楽堂
集会開始：18時 (開場 17時30分)
デモ出発：19時

呼びかけ：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

